

## 平成 27 年度三重県経営方針の策定について

## 1 基本的な考え方

## (1) 「みえ県民カビジョン・行動計画」の目標の必達意識を徹底

・平成 27 年度は「行動計画」の最終年度にあたるため、数値目標の達成に向け、オール県庁で必達意識をもって県政の諸課題の解決を着実に推進

- ① 進展度が遅れている取組は、課題を分析した上で、的確に対応
- ② 進展度が進んでいる取組は、県民の皆さんにより成果を実感していただけるよう、一層推進

③ 必達意識を前提にしつつも、県民の皆さんに成果が届きにくいと判断した取組は、思い切った方向転換

## (2) 国の動きや社会経済情勢の変化にも的確に対応

・具体的に対応すべき課題は、以下のとおり

- ① 平成 26 年度経営方針の中で「社会情勢の変化等に対応するため、特に注力する取組」に掲げた取組のうち、継続して取り組むべき課題
- ② 「経済財政運営と改革の基本方針 2014」や『日本再興戦略』改訂 2014 の策定など、国の動きや平成 27 年度特有の社会情勢の変化を受けて、新たに対応すべき課題

## (3) 平成 27 年度予算編成等にむけた県政運営の基本方針として位置づけ

・上記の考え方に沿って、「当初予算調製方針」及び「組織機構及び職員定数調整方針」を策定

## 2 構成案

(1) 「平成 27 年度三重県経営方針」の構成は、中間案及び最終案ともに、平成 26 年度経営方針に準じる。

(2) 中間案については、通常ベースの記載とする。

(3) 最終案については、予算編成プロセスと整合性を図りながら記載する。

平成 26 年度三重県経営方針	平成 27 年度三重県経営方針(案)
I 平成 26 年度の三重県経営にあたって	I 平成 27 年度の三重県経営にあたって
II 平成 26 年度の政策課題及びその展開方向	II 平成 27 年度の政策課題及びその展開方向
1 平成 26 年度における政策展開のポイント (少子化対策、グローバル化への対応、三重県のブランドカアアップ Ver. 2)	1 平成 27 年度における政策展開のポイント
2 「選択・集中プログラム」において、特に注力する取組	2 「選択・集中プログラム」において、特に注力する取組
3 社会情勢の変化等に対応するため、特に注力する取組 ・ <u>少子化対策</u> (重点化施策)※施策名を明記 ・ 県民の命を守る緊急的な取組 ・ グローバル化への対応 ・ 中小企業・小規模企業の振興 ・ スポーツの推進	3 社会情勢の変化等に対応するため、特に注力する取組
III 平成 26 年度の行政運営	III 平成 27 年度の行政運営
IV 職員の業務遂行にあたっての行動指針 ～五つの心得～	IV 職員の業務遂行にあたっての行動指針 ～五つの心得～

### 3 当面の策定スケジュール

9月12日 経営会議（原案協議）

9月14～16日 秋の政策協議

9月24日 政策会議（意思決定）

10月2日 平成 27 年度経営方針(中間案)の発表